

佐賀県感染症発生動向調査週報

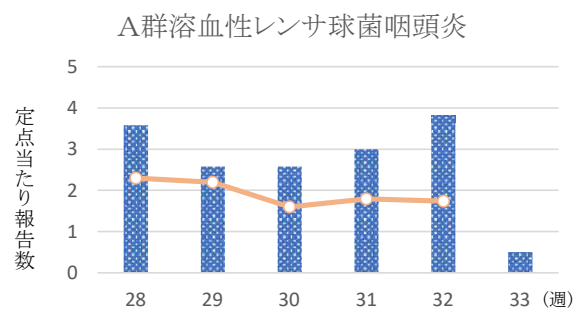
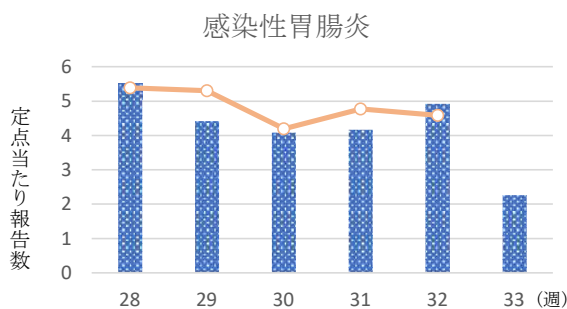
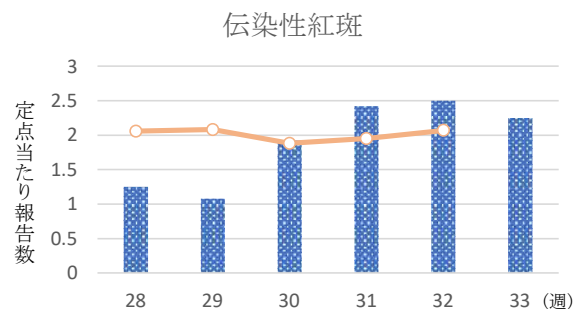
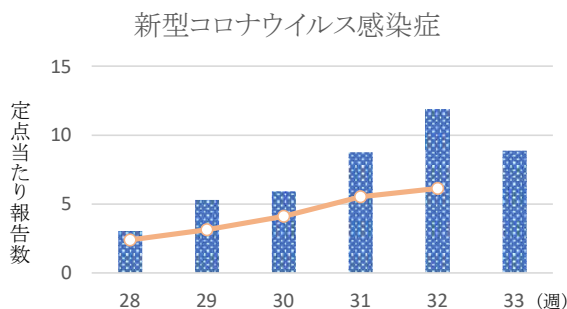
2025年第33週 2025年8月11日(月)～2025年8月17日(日)

<https://kansen.pref.saga.lg.jp>

佐賀県感染症情報センター

◆注目疾患の動向

- 【定点当たり報告数の多い疾患】①新型コロナウイルス感染症(8.88:213名)
②感染性胃腸炎、伝染性紅斑(各2.25:27名) ④RSウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(各0.50:6名)
- 【腸管出血性大腸菌感染症】2件2名(O157)の報告がありました。手洗いや食材の十分な加熱等を心がけ、感染予防に努めましょう。
- 【ダニ媒介感染症】2名の報告(重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1名、つつが虫病1名)がありました。SFTS、つつが虫病は、病原体を保有するダニに咬まれることによって感染します。ダニに咬まれないために、ダニが生息する恐れがある山や草むらで活動する場合は、長袖、長ズボン等を着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- 【新型コロナウイルス感染症】患者報告数は213名で、定点当たり報告数は減少(11.83→8.88)しました。手洗いや咳エチケット、こまめな換気などにより感染予防に努めましょう。発熱で受診される際は事前に医療機関に連絡し、マスクを着用しましょう。
- 【伝染性紅斑】患者報告数は27名で、定点当たり報告数は減少(2.50→2.25)しました。流行発生警報は継続中です。手洗い、咳エチケット等により感染予防に努めましょう。
- 【百日咳】6名の報告がありました。百日咳は、感染力が強く、百日咳の予防接種を受けていない乳幼児が感染すると重症化することがあります。咳が長引く場合は百日咳や他の呼吸器感染症である可能性も考え、早めに受診をしましょう。



◎棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

※各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

<https://kansen.pref.saga.lg.jp>

◆全国版感染症週報(IDWR)

2025年第31・32週(第31・32合併号)発行予定は2025年8月22日(金)です。

※詳細は国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査週報リンク先のホームページを御覧ください。

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

佐賀県感染症発生動向調査週報

<https://kansen.pref.saga.lg.jp>

佐賀県感染症情報センター

◆全数届出の感染症(佐賀県) 2025年第**33**週 2025年8月11日(月)～2025年8月17日(日)

疾病名		結核 (二類感染症)	腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)
患者 (管轄保健福祉事務所)			O157 2名 *1:乳幼児男児1名 60歳代男性1名 (佐賀中部)
感染原因・感染経路			経口感染、動物・蚊・昆虫等からの感染
無症状病原体保有者		1名	0名
2025年届出累計		59名(今週1名)	13名(今週2名)
2024年	同期累計	56名	15名
	届出累計	82名	39名

*1 届出の患者間に関連性はありません。

疾病名		重症熱性血小板減少症候群 (四類感染症)	つつが虫病 (四類感染症)
患者 (管轄保健福祉事務所)		1名:60歳代男性 (佐賀中部)	1名:60歳代男性 (唐津)
感染原因・感染経路		動物・蚊・昆虫等からの感染	不明
無症状病原体保有者		0名	0名
2025年届出累計		4名(今週1名)	2名(今週1名)
2024年	同期累計	2名	0名
	届出累計	4名	3名

疾病名		劇症型溶血性レンサ球菌 感染症 (五類感染症)	百日咳 (五類感染症)
患者		1名:70歳代男性	6名:乳幼児女児1名 小学生高学年男児1名 30歳代男性1名 50歳代女性1名 80歳代男性1名 80歳代女性1名
感染原因・感染経路		不明	家族内感染、不明
無症状病原体保有者			
2025年届出累計		6名(今週1名)	856名(今週6名)
2024年	同期累計	11名	2名
	届出累計	14名	15名

佐賀県感染症発生動向調査週報

https://kansen.pref.saga.lg.jp

佐賀県感染症情報センター

◆佐賀県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 2025年第33週 2025年8月11日(月)～2025年8月17日(日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤	計	前週	全国 (第32週)
インフルエンザ／ COVID-19 (24)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)	1 0.10	3 0.75			1 0.25	5 0.21	16 0.67	1,131 0.30
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)※1	78 7.80	84 21.00	13 3.25	17 8.50	21 5.25	213 8.88	284 11.83	23,126 6.13
小児科 (12)	RSウイルス感染症	1 0.20	2 1.00	2 1.00	1 1.00		6 0.50	14 1.17	1,976 0.86
	咽頭結膜熱	2 0.40	1 0.50	1 0.50			4 0.33	7 0.58	970 0.42
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.40		3 1.50		1 0.50	6 0.50	46 3.83	4,009 1.74
	感染性胃腸炎	9 1.80	9 4.50			9 4.50	27 2.25	59 4.92	10,572 4.59
	水痘							1 0.08	593 0.26
	手足口病							3 0.25	1,335 0.58
	伝染性紅斑	9 1.80	6 3.00	4 2.00	7 7.00	1 0.50	27 2.25	30 2.50	4,756 2.07
	突発性発しん	1 0.20			1 1.00		2 0.17	8 0.67	793 0.34
	ヘルパンギーナ		2 1.00				2 0.17	20 1.67	3,880 1.69
	流行性耳下腺炎								112 0.05
眼科 (3)※2	急性出血性結膜炎								16 0.02
	流行性角結膜炎							1 0.25	570 0.86
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								9 0.02
	無菌性髄膜炎								26 0.05
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00			1 0.17	1 0.17	590 1.23
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								2 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)								2 0.00

細字は定点当たり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19): 新型コロナウイルス感染症 (病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス (令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。)) であるものに限る。)

※2 眼科定点である1医療機関が休診のため、定点数が減っています。

◆佐賀県感染症発生動向調査

急性呼吸器感染症 (ARI)

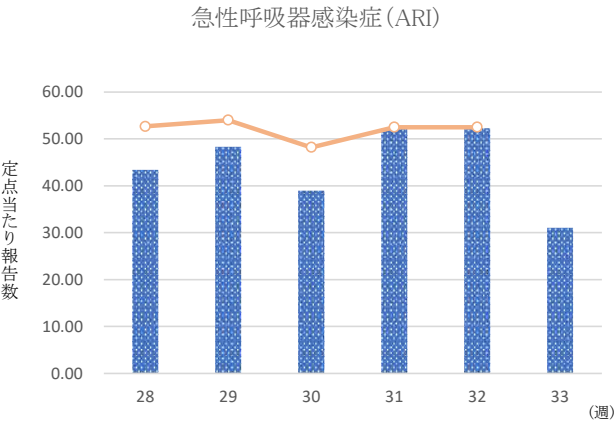
[定点報告:五類感染症(週報分)]

2025年第33週 2025年8月11日(月)～2025年8月17日(日)

定点種別 (定点数)	管轄保健福祉 事務所 病名	佐賀中部	鳥栖	唐津	伊万里	杵藤	計	前週	全国 (第32週)
急性呼吸器感染症 (24)	急性呼吸器感染症※1	351 35.10	124 31.00	107 26.75	59 29.50	104 26.00	745 31.04	1,255 52.29	198,058 52.49

細字は定点当たり報告数

急性呼吸器感染症 定点	急性呼吸器感染症※1
0歳	55
1～4歳	265
5～9歳	116
10～14歳	32
15～19歳	15
20～29歳	30
30～39歳	41
40～49歳	48
50～59歳	49
60～69歳	29
70～79歳	45
80歳以上	20
合計	745
前期計	1,255
当期間/前	0.59
増減数	-510



◎棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI): 症例定義 (咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ、医師が感染症を疑う外来症例) に一致し、急性呼吸器感染症と診断された患者

◆佐賀県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

2025年第**33**週 2025年8月11日(月)～2025年8月17日(日)

インフルエンザ /COVID19 定点	インフルエ ンザ(鳥イン フルエンザ を除く)	新型コロナ ウイルス感 染症 (COVID- 19)※1	小児科 定点	RSウイル ス感染症	咽頭結膜 熱	A群溶血 性レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	ヘルパン ギーナ	流行性耳 下腺炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス に限る)
0～5ヶ月		4	0～5ヶ月	1										0～5ヶ月							
6～11ヶ月		2	6～11ヶ月	1	1		5				1			6～11ヶ月							
1歳		4	1歳	3	1		4			2	1	1		1歳							
2歳		4	2歳		2	1	5			2				2歳							
3歳		3	3歳	1		1	1			6				3歳							
4歳		2	4歳			1	4			8				4歳							
5歳		2	5歳			1	1			3				5歳							
6歳		1	6歳				2			5				6歳							
7歳	1	1	7歳			2								7歳							
8歳		3	8歳				1			1		1		8歳							
9歳	1	2	9歳				1							9歳							
10歳～14歳	1	10	10歳～14歳				1							10歳～14歳							
15歳～19歳	1	7	15歳～19歳											15歳～19歳							
20歳～29歳		18	20歳以上				2							20歳～29歳							
30歳～39歳		26												30歳～39歳					1		
40歳～49歳		35												40歳～49歳							
50歳～59歳		28												50歳～59歳							
60歳～69歳		17												60歳～69歳							
70歳～79歳	1	23												70歳以上							
80歳以上		21																			
合計	5	213	合計	6	4	6	27			27	2	2		合計					1		
前期計	16	284	前期計	14	7	46	59	1	3	30	8	20		前期計		1			1		
当期間/前	0.31	0.75	当期間/前	0.43	0.57	0.13	0.46			0.90	0.25	0.10	***	当期間/前	※2	※2	***	***	1.00	***	***
増減数	-11	-71	増減数	-8	-3	-40	-32	-1	-3	-3	-6	-18		増減数	※2	※2					

***は前期計が〇のとき

※1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19):新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)

※2 前週と定点数が異なるため比較しておりません。

[illegible]

(11) 重症急性呼吸器症候群については、病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。(12) 中等度呼吸器症候群については、病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。(13) 急性熱性血小板減少症候群については、病原体がプレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。(68) 急性脳炎については、エウスタイン脳炎、西部クマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部クマ脳炎、日本脳炎、バネズエラウイルス脳炎及びアトランタ熱を除く。